

P02 クロスリンガルな単語分散表現を用いた 機械翻訳自動評価手法の検討

首都大学東京 小町研究室 嶋中宏希 山岸駿秀 松村雪桜 小町守

研究の概要(先行研究)

- 意味を考慮して評価する手法として、先行研究ではモノリンガル(単言語)の単語分散表現を用いた自動評価手法が提案されている。[Wang et al., HyTra 2016]

➤ 日本語 → 英語 翻訳での例:

出力文: He is a nice player



参照文: He is a great golfer

表層ではなくモノリンガルな単語分散
表現用いて比較

→ 単語分散表現を用いると意味を考慮できる

研究の概要(提案手法)

- 提案手法:
[Wang et al., HyTra 2016] の手法をクロスリンガルな単語分散表現(複数言語の単語分散表現を同一空間で表現)を用いるモデルに変更

➤ 日本語 → 英語での例:

出力文: He is a great player



参照文: He is a nice golfer

クロスリンガルな単語分散表現を用いて比較

→ クロスリンガルな単語分散表現を用いることによりモノリンガルなものより精度がより良い評価手法になるのでは